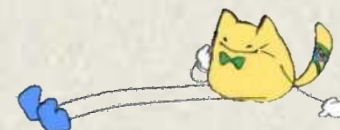


座談会テーマ「平成校ってどんな学校？」

場所 四門館

実施日 2023年2月24日(土)

参加者 (学年は座談会実施時のもの)



Mさん

Cさん

教頭

Fさん

Sさん

4年男子(理系予定)。
茶道部。視野が広く人望があつい。文理両方に通ずるオールラウンダー。歴史好き。

4年女子(文系予定)。
俳句部。責任感の強い気配りの人。幼少期から続ける水泳も得意な文武両道の面も持つ。

数学科。済美平成に開校準備段階から勤務。メガネの奥の優しい目がチャームポイント。俳句とウサギが好き。

5年理系女子。ソフトテニス部。勉強もスポーツもバランス良くこなせる。面倒見のよい頑張り屋。

5年理系男子。放送部、頼れる機械班。どんな無茶ぶりにも常に優しく対応してくれる努力家。

◇ 済美平成に入学して驚いたことや 他校との違いは？

F 平成校ならではの行事や授業がたくさんあると思います。例えば、



3年生で取り組む論文活動は他校に無いと思いますし、英語のオンライン英会話や、それから授業にも個性的な面白いものが多いですね。私は生物の授業がとても好きなんですけど、最近したのは、豚の目の解剖(笑)。かなり貴重な体験だと思いますし、印象深かったです。

教頭 解剖そのものは他校でもやってるとは思うけど、うちの理科や社会の教員には個性的な先生が多いからね。豚の目を購入するという書類が回ってきてハンコを押したけど、ああ、豚の目って売ってるのか、と(笑)。

S 僕は、他校との一番の違いは、中等教育学校なので1年から6年までいることではないかと思います。スポーツカーニバルなどの学校行事で、年の離れた先輩や後輩達と触れあうことも多くて、たくさんのことを学べるのも良いなあと思います。

C 私は定期考査の期間に放課後など「学習会」があるのに驚きました。他校生に、テスト中は早く帰れるから嬉しいとか聞いて少し羨ましかったけど、先生方がいつでも勉強できる場所や環境を作ってくれていると考えると、とても有り難いです。

M 僕は、先生と生徒の距離がとても近いと感じています。特に、先

ほども話に出た論文活動は、先生と密に話し合いながら作り上げていくので、自然と距離が近くなりました。

教頭 学校行事としては、3年生でやっている論文活動は、やはりうちの特色があると思います。全教員で3年生を手分けして担当して指導します。あとは、教員との距離は近いですね。面倒見が良いと言えば面倒見が良い、面倒を見て欲しくない生徒にはちょっと……みたいなどころはあるかなと思いますね(笑)。



優秀論文発表会

◇ 好きな授業、印象的な授業、 ユニークな先生などはありますか？

F 私はさっきも言った生物かな？豚の目はインパクトがありました。(笑)。

S 僕が印象に残っているのは、タブレット導入時のこと。今、全生徒にiPadが配付されているけど、中3の時に、僕たちの学年が一番最初にタブレットを導入することになった。数学の担当の先生が、授業の動画を全部作ってくれて、それを見て勉強していくという授業があって印象深かった。手作りの解説動画は見たいところを何度も繰り返し見られるし、早送りもできるので、導入当初は特に画期的だと思いました。

教頭 コロナがなければ一学年ずつ段階的に導入予定だったけれど、結局はコロナ禍でiPadを一気に導入することになった。ロイロノートを利用しての解説動画は、聞き直しが出来たり、聞きたい箇所から自由に聞いたりできて、個別の最適化が出来る点もいいですね。

C コロナ禍で休校になってしまって、授業がなくなったとき、ロイロノートで授業の動画が送られてきて、それを自宅で勉強したんですが、授業なら聞き逃すと分からなくなってしまうたり、ノートが間に合わず焦ったりするところも、聞き直しができて良かったですね。あと、タブレットが導入されて、先生に質問しやすくなりました。どんな質問にもすぐに回答して下さるので、テスト前やテスト期間中は積極的に活用していますね。



M 僕が一番印象に残っている授業は、1, 2年次にある国語表現という授業。個人的にも好きだったし、済美平成ならではの取り組みがある。たとえば、国表の授業では百人一首をやるけど、1, 2年の時にはあまり意味が分からずにいても、3, 4年で古典を習うと意味がよく分かるようになって、導入としてとてもいいなと思う。僕は国表でやる日本語の口語文法も好きで、品詞や文の構造なども面白かった。英語の長文理解などにも、個人的にはつながったなと感じています。

教頭 校長先生がよく言っているけど、「知」にアクセスする喜びを、生徒には学んで欲しいですね。知らなかったものを知るとか、使っていなかった脳の領域を開く、そういう授業ができてるといい。

学習指導要領という大枠はあるけれど、それぞれの先生が、自分の良さを生かして工夫して授業をしている。タブレットを多用する先生もいるし、あまり使わない先生もいる、板書をいっぱい書く先生もいればプリント配付の先生もいる。先生方においてほしいのは、それぞれのやり方で、「知にアクセスする喜び」を生徒に教えて下さい、ということです。ユニークな授業や行事は、そういう喜びを知るきっかけにもなるので、平成校には、個性的なものが多くなるのだと思います。



◇学校の中のお気に入りの場所や時間、行事などは何ですか？

F 私のお気に入りは自習室の「四門館」ですね。5年生は模試とか学習会とかで使いますが、勉強中、集中力が切れそうになっても、前方の大きな窓から景色を見ることで気分転換が図れます。時間では、部活動の時間も大切にしています。私は女子ソフトテニス部に所属していますが、部の仲間達と切磋琢磨する中や、試合の緊張感の中で鍛えられたメンタルは、受験にも生かせると思います。この学校では文武両道が大切。私たちの部は今、県大会はもちろん、県で勝って、その先に進めるように頑張っています。



考查前学習会

教頭 四門館は、下の学年でも、学年集会や行事で使うけれど、基本的には6年生の自学自習の場所だから、もうすぐ6年生になって、Fさん達が使うことになる場所だね。春休みに、ちょうど新6年が四門館で自習を始める頃、窓からは桜がきれいに見える。来年の春には、サクラ、咲かそうねということで、毎年、スタートを切る場所でもあるね。学校として一番最近、20周年を記念して整備したのが、今いるこの四門館で、その時一緒に出来たのが真上の櫓スクエアだね。四門館には4つの小さな部屋が併設されているけど、1学年4クラスなので、それぞれのクラスの面談や個別指導などで、とても便利に使われてますね。

S 僕が好きな場所は、今、教頭先生がおっしゃった櫓スクエア。四門館の上の屋上広場で人工芝が敷いてある。僕が所属している放送部の部室から近いのでよく行くんですが、新鮮な空気が吸えるしリラックスできるし、とてもいい場所です。放送部の部員が発声練習したりする活動の様子を写真に撮ったりすることもあります。あと、学校行事では、「てくてく☆SH walk」が印象に残っています。コロナのせいで中止になってしまっていて、1回しか参加できていないけれど、30kmぐらいの距離を、参加者みんなで歩き通す。初めて歩いたときには、足が痛くて、帰り道なんか、本当にしんどかった。何時間かかったのか覚えていないぐらい(笑)。当時、一年生のくせに先頭集団で歩いた。最後は、なんと引率の先生が走り出したもんだから、置いて行かれてひとりぼっちに(笑)。足が痛くて痛くて仕方ないんだけど、ゴールしたときの達成感は格別で、他の参加者達との



てくてく☆SH Walk

仲も深まった。歩き終わった後にみんなで食べたカップうどんも、ものすごく美味しかった!(笑)

C 行事なら、私はスポーツカーニバルが大好きですね。同級生はもちろん、先輩や後輩とも仲良くなれるし、その関係がスポーツカーニバルの後もずっと続いていくのがいいですね。次は自分達の学年がリーダーだから、やるからには優勝目指して頑張りたい。勝つためには、自分の学年のチームワークだけでなく、後輩達にどう伝えるのかも、大切だと思う。最後は、みんなが楽しめた、という形で終わればいいのかなと思っています。好きな場所は、けやき Agora ですね。アリーナの隣の、櫓が植えてあるウッドデッキの広場。みんなと集まってちょっと話したいときとかに使えて、外の新鮮な空気も吸えるのでお気に入りの場所です。



スポーツカーニバル

M 僕は茶道部に入っているので、好きな場所なら、やはり茶道室です。水屋もちゃんとあって活動場所として適していますし、畳が敷いてあるので、心が落ち着く場所ですね。その茶道部でお茶会ができる「平成祭」は特に楽しみな行事です。毎年、だいたい4年生が仕切ってやることになっている。今年は僕たちが、外部講師の先生から、自分達で考えてやってみたくてやらせてもらいました。コロナとかで変更しなくてはいけないこともあったけれど、お茶席のテーマを決めて、それにあったお道具を準備し、お茶碗の説明をしたり、ひとつひとつ



平成祭

つ考えながらやる、それが面白かったので、今年の平成祭は特に印象に残りました。

教頭 楽しい行事や楽しい居場所があると学校生活が楽しくなるので、ぜひ見つけてください。部活動や勉強で挫折することもあると思いますが、何にでも、何度でも挑戦できる前向きな人になってほしいと思います。

◇部活動について やろうと思った動機や目的は？

教頭 さっきから話に出てるとおり、今日の参加者は、4人とも部活動に所属してるよね。やろうと思ったきっかけや、部活動の魅力は何か？

F 私は女子ソフトテニス部ですが、さっきも言ったように文武両道をめざして頑張ってきました。部活動に取り組んで鍛えたメンタルの強さを、残り1年の受験勉強に生かせたらなと思っています。

S 僕は放送部に所属して、機械操作を担当しているんですが、放送部は学校行事とかに大きく関わるので、部活動と言うよりも、仕事っぽいなと感じます。卒業式やオープンスクール、スポーツカーニバルなど、大きな行事ではミスができないので緊張感もあるし、いつまでに何をやらなきゃいけないか、先を考える力も身についた。最初は、平成祭のラジオドラマへ部員から頼まれてピンチヒッターとして参加しただけだったけど、気がついたら入部していた(笑)。これも「ご縁」ですね。



C 私は俳句部です。ちょっと珍しい部活なのかもしれませんが、日本語の語彙を増やしたいなという思いと、日本にある四季を感じられるのは俳句かな、自然のことについて考えられるのはいいなと思って入部しました。歴代の先輩達が出場している俳句甲子園



俳句甲子園

の全国大会へ自分達も出場したいと、みんなで頑張っています。まずは愛媛県のトーナメントで勝ち抜き、出場できる2枠を目指す戦いです。投句審査もあるし、ディベートの力も必要です。等身大の句、学生ならではの句を作ることを大切にしています。

M 僕は茶道部ですが、茶道との出会いは小学校の時です。歴史が好きだったので、歴史に関わることの出来るクラブとして茶道を選びました。中学生になってからお茶会の運営などに関わるようになって、日本の四季・季節感を学んだり古き良き文化に触れることが出来るのがいいなと思いました。特に、お茶会は、お客様のことを想う「思いやり」が一番大切なので、そういうことを身につけておくことが将来にも役に立つかなと思って続けています。

教頭 以前は同好会と部を分けていたけど、部活動に統一しました。活動日や時間帯などは部活動ごとの決定に任せています。生徒達にとって、さっきも話した、放課後の「居場所」の一つになればいいと思っています。入部率は、5～6割ってところかな？

M そうですね。4年生ぐらいになると、もっと入部率が上がる気がします。

教頭 遠距離を通ってくる生徒もいるので、1年生など最初のうちは、大丈夫かなと様子を見る感じもあるかもしれないね。その後、入部して3年まで活動してみて、さあ、後期課程でも続けてやるかどうかと考える生徒もいると思う。教員が顧問を持ちきれないという面もあるし、活動場所も限られているので、作りたくても作れない部活動もあるのが現状。例えば、バスケット部は、男子はあるけど、女子はないとか。ラグビーやバレーをやりたいという声



もあるけど、グラウンドやアリーナのスペースに制約もあって、なかなか難しい。生徒には申し訳ないと思うけれど、今ある部活動で楽しめるものがあれば、ぜひ参加してみたいと思っています。

◇部活動で、1年から6年まで一緒に活動できるからこそ「良さ」は？

- F** 1年生の時は、4、5学年、年が離れていると本当に大人びて見える。先輩の様子を見ながら後輩への振る舞いとか、指導のやり方とかも学べたし、いろいろな人が居るので、その人その人が持っている技術とかも学べたりしていいなと思いましたね。
- S** 僕の場合は、入部が遅かったんで、先輩との交流は一つ上の人たちしかなかったんですよね。
- C** 先輩から勉強の話とか、文理選択や科目選択の話なんかも聞いたり、学年が上がってからの小テストの話などを聞くと、ああ、自分

もこんなふうになっていくんだと先を知ることが出来るのはいいと思いました。後輩を見ていると、逆に、ああ、あの頃は……と思い出したり。今のうちに遊んでおくといいよ、なんて思いますね（笑）。

M



僕の場合は、年が離れているだけじゃなくて、周りがみんな女子。茶道部は女子率が非常に高い（笑）。でも、女子同士しか話さない、なんてことは無かったので大丈夫。5、6年生は校舎も第2別館で、本館にいる下級生とは離れているから、部活動で一緒になると、自分がこれからどうなっていくのかなという

ようなことを知ることができて、すごくいいなと思いますし、茶道部で言えば、お茶会のマネジメントを先輩から学べるのもいい点ですね。

◇先生達との関係は？

- F** 平成校は先生達との面談がとても多い。つい最近は教頭先生が面談をして下さった。自分の進路について、先生達の意見を聞けるし、今自分が必要な物など言うと、資料などすぐ下さったり。iPadも導入されたので、授業の質問も以前に増して、しやすくなったと思います。先生方の返事も早くて、テスト期間とかは特に助かります。
- S** 授業への質問以外にも、もっと難しい問題を解いてみたいとか言うと、ひとつ上のレベルの問題を下さったり、ここが出来ないと

か言うと、すぐに的確なアドバイスを下さったり、頼れる感じですね。進路面でも模試が返却されるたびにクラス担任の先生と面談がある。どこが伸びてきたとか、どこに力を入れるべきかとか、言って下さるからモチベーションが上がる。話しかけやすい、相談しやすい感じの先生がとても多いと思います。僕は褒められると頑張るタイプ。平成には褒め上手な先生が多いような気がする（笑）。



個別指導の様子

教頭 生徒ごと、モチベーションがあがり、良いパフォーマンスにつながる接し方はいろいろあると思うけど、教員というのは、基本的に生徒を褒めたいと思っているからね。褒められるところがあれば、褒めてあげたいなど。まあ、時には「褒められないこと」をしでかす生徒もいますけれど（笑）。

C 私の場合は、文理選択でとても悩んだ一年でした。特に、科目選択で本当にいろいろ担任の先生からアドバイスをいただいた。進みたい進路に応じて、こっちの科目の方がいいかも、というような具体的なアドバイスで、とても助かりました。3年生ぐらいから、文理どちらにするとか友達ともよく話してたけど、自分の場合は、今年に入ってから社会科が面白くなってきて、2科目選択できる文系を選んだ。先生も「自分がやりたいことをやったらいい」と背中を押してくれました。



M 僕は常に先生とは良好な関係、ですね（笑）。平成祭でお茶会のチケットを買ってもらいに行くんですけど、先生方は非常にフレンドリーで親身な方が多いので、気軽に先生達の方から声を掛けて下さるので、良い関係が築きやすいですね。3年の論文活動で僕を担当してくださったのは教頭先生だったんですが、今でも職員室に行ったりすると声を掛けて下さる。そういう雰囲気なので、職員室に行くのも楽しいですね。

教頭 そうそう、M君、よく来てるよね、また来てるって思ったりする（笑）。

M 僕の場合は、質問とかよりも世間話が多かったです（笑）。

◇先生から言われたことや指導で心に残っていることは？

F 先日の教頭先生との面談の時に、「何かをするときに、意味を持ってすることが大事」という話をして頂きました。部活動でも同じようなことを教わったので、この言葉は何をやるときにもあてはまる言葉かなと思っています。

教頭 最近、平成校では、校長が1、2年生、もう一人の教頭が3、4年生、自分が5、6年生を担当して、年に1、2回全員の生徒の面談をしています。その時に、自分がやる勉強は、自分が納得して考えたメニューをやりなさいという話をした。納得度と学習量をかけ算してできる四角形の大きさが、そのパフォーマンスだという話です。6年生は、各自が別々の志望を持って戦うわけで、自分の練習メニューは自分で考えられないとダメですからね。

S 僕は、一年生の時の学年主任の先生から言われた「いい加減にするな、“良い加減”にしろ」と言う言葉が残ってますね。聞いた時、ああ、なるほど、上手い言葉だなあと考えた（笑）。あと、同じ先生に「“ホウレンソウ”（＝報告・連絡・相談）が大切」って言われたのも覚えていますね。

C 私はおしゃべりで、慣れてくるといろいろ話したいタイプ。担任の先生がたくさん面談をしてくれたのは嬉しかった。進路や勉強の話を何でも話せて先生も話してくれて、すごくためになっていると思う。

M 僕が心に残っているのは、「one of them」ではダメだっていう言葉です。昨年、今年と2年間、英語のスピーチにチャレンジしたんですが、その過程で、聞いた人の心に残るために、大勢の中の一人じゃなくて、ひとりひとりの、人の心に残るものじゃないとダメだと教えて頂いた。その言葉が心に残ってますね。



◇ 済美平成では「つなぐ力」を大切にしています。 これを実感した経験は？

F 私は学習合宿や学習会などで感じます。勉強する機会や環境は先生達が用意して下さるけど、そこで自分がどういった勉強をするか、勉強に臨む態度は自分自身で考えなければならない。環境を生かして自分の将来や進路に「つなげていく力」が必要だし、そういう力が養われていくんだらうなと思っています。自らを律する

ことで将来や進路を切り拓く力が養われていくと思います。

S 5年生は朝の8時から自習があったり、テスト期間の放課後なども自習時間があったりする。朝の学習会では、8時スタートっていう時間設定は先生達が決めるけど、大半の生徒は開始5分前に着席したりしている。早めに友達同士で声を掛け合ってます。生徒同士もそうやって良い意味でつながっている。そういうのも「つなぐ力」なのかなと思うし、言われてから行動するのではなく、今の自分達に必要なものに気づき、自ら行動することが大切なんだと思います。

C 以前、考査の時の話なんですけど、休日も勉強したい人のために教室を先生方が準備して下さって、自由参加の学習会があった。私が「行こうかな？」と言ったら、周りにいた友達も一緒に「行こう！」って、出てきて頑張った。お互いに高め合える存在だし、頑張ろうっていう空気が良い意味で伝染していった。そういう、友達とつながっていく力も「つなぐ」ということかなと思います。

M 横の繋がりだけでなく、6年生までいて縦につながって一緒に活動できる環境で学べるっていうのも、「未来を拓く力」というのにつながって、これも「つなぐ力」のひとつかなと思いますね。先輩達が仕事の話をしてくださる「卒業生講演会」は、進路やキャリアを考える材料になるだけでなく、社会とつながる貴重な機会だと感じました。



卒業生講演会

教頭 「つなぐ力」にはさまざまな側面の「つなぐ」があります。まずは

自分じゃない他者と関係を結んでみよう、結ぼうと思ったときに結べるのが大事なことだというようなことを、折に触れて話しています。具体的には、数学の教師である自分なら、まずは先人の知恵と「つながる」ことだったり、今習っていることが何とつながるのか考える力だったりする。3年でやる「論文活動」で言うなら、文献を調べるプロセスで時間や場所を越えて「他者の考え」とつながる、論文テーマと検証結果をつないでいく必要もあるし、論文発表会では自分の考えを他者に伝えて、他者や未来とつながっていくという側面もある。指導担当の先生とやりとりしながら論文を完成させるプロセスは、校訓にもある「対話」の連続だね。



◇ 「済美平成」は、ひと言で言えば、どんな学校？

- F** 私にとっては、個性を生かしながら、互いが切磋琢磨して高め合える場所、ですね。
- S** 僕は「自由な学校」だと思います。先ほど教頭先生が校訓の「対話」の話をされましたが、僕は「自律」という言葉を大切にしています。細かい校則がほぼ無い自由な校風だからこそ、自律が求められる、というところにつながりますよね。
- C** 私は、生徒と先生達との距離が近いアットホームな校風も好きです。おしゃべりな私は面談中もずっとしゃべっているんですけど、どんな話でも真剣に聞いて下さるので、先生との面談時間はいつ

も楽しみにしています。

M 僕は「個性あふれる学校」だと思っています。生徒も先生もいろんな考え方や価値観を持っている人がたくさんいる学校だと感じます。授業や学校行事にさまざまなアイデアが出てくるので、何か物事を創り出すのに最適な学校だと思います。校訓で言えば「創造」ですね。

教頭 学校としては、端的に言って「前向きになれる人」に入学してきて欲しいですね。いろいろな事に常に前向きになるってことは、まあ難しいとは思いますが、大切なことだと思うんですね。入学してきてくれた生徒には、どんどん前向きに頑張っていけるように応援したい。人生を楽しむとか前向きに生きていくとか、そういう生き方を身につけて卒業すれば、社会へ出て生きていけるのではないかと、そんな風に思っています。教員の1人として、自分も前向きに人生を楽しんでいる、その姿を生徒に見せること、あとは、前向きにやろうとしている生徒の姿を褒める、例えば、人を信じて裏切られても、また他の人を信じてみようとする、上手くいかないことにぶつかってももう一度トライしてみようとする、そういう前向きさを、この学校で育てたいなと思っています。クラス、授業、部活動等、いろいろな場面で、生徒の一人一人が認められる場所があるといいですね。在学中は生徒同士や先生方とつながる一方で、勉強を通じてさまざまな世界とつながって下さい。そして、卒業後は、社会のリーダーとなって他者同士をつなぐ存在にもなってほしい。皆さんの活躍を楽しみにしています。

